

令和 7 年度以降の主な取組について

●射水市道の駅新湊等整備運営事業について

令和 7 年度 1 1 月中のリニューアルオープンを目指す。

〔リニューアル概要〕

現・道の駅新湊は「minami court」（仮称）として主に物販とカフェ、農産物直売の機能を、旧・新湊農村環境改善センターは「kita court」（仮称）として主にレストランとフードホール機能を持たせる。

また、両施設の間に新たに広場「center court」（仮称）を設け、ファミリー層の来場を促す。

なお、広場の設置に伴い、両施設の間を通る市道作道 2 2 8 号線をエリア北側に付け替える。

また、旧・新湊農村環境改善センター西側に駐車場を増設する。

●クロスベイ新湊の魅力向上について

観光協会の移転に伴い生じた空きスペースを有効活用するため、4 月 1 日からコミュニケーションスペースという名称で使用料を新たに設定。（1 h 4 0 0 円）

併せて、かねてより利用相談が多かった国道 4 1 5 号に面した緑地部分についても使用料を新たに設定した。（2 区画：1 区画あたり 1 h 3 0 0 円）

●射水市制 20 周年記念事業 第 59 回富山新港花火大会

射水市制 20 周年記念事業として、花火大会を開催し、有料観覧席を増大させるなど更なるインバウンド誘客につなげる。

●「射水」の知名度向上イベント開催事業

都市圏で活躍されている射水市ゆかりの方々と構成する「射水ゆかりネット」と連携し、郷土愛の醸成と「射水」の認知度の向上につながる特色あるイベントを開催する。

●内川未来戦略会議（ビジョン実現に向けた指針とアクション）

別紙

ビジョン	わざわざ暮らしたい奇跡の湊町、内川			
指針	(1) エリアの活性化 交流促進	(2) 内川の情景を 未来につなぐ	(3) 移住者等の 受入体制の強化	(4) まちに必要な 機能の可視化
アクション	朝市の定期開催 └ 暮らしたい人を見つけて増やす /マーケティング └ 地域住民と来訪者の交流	情景条例等の策定 └ 情景（≡ 景観）のルールづくり └ 漁船の維持・活用	空き家の徹底調査 └ 空き家の実態を把握 └ 暮らしたい人のウェイティングリスト 作成	未来のまちの担い手が参 加する公開会議の実施 └ リノベーションスクールによる実践など リノベーションまちづくりの推進
射水市側の 担当	観光まちづくり課 └ 川の駅新湊などを活用し、 民間や市民を巻き込んだ共創	都市計画課 └ 景観（情景）のルールづくり 農林水産課、河川・港湾課 └ 漁船の維持・活用	建築住宅課 観光まちづくり課 └ 空き家の実態を把握 └ 暮らしたい人の順番待ちリスト化	観光まちづくり課 └ 内川の価値を理解し、意思を持って 暮らしたい人をコミュニティ化
サポート	未来戦略会議委員 └ 各施策の分析・助言			